

昭和59年
2月10日

第33号

発行 守谷町議会
編集 守谷町議会事務局
TEL 02974(8)1441 (内56)
茨城県北相馬郡守谷町大字守谷
甲631~1

もりやまち

議会だより

① 議決された内容、決議

② 一般質問

③ 決算の概要、請願・陳情ほか

④ 町議会議員の顔ぶれ



成人式の装いも年々華やかになって来ている。1月15日行われた成人式(中央公民館)

57 決算を可決する

守谷町議会第四回定例会

昭和五十八年第四回定例会が十二月七日から十五日まで、九日間
の会期で開かれました。
初日の本会議では全議案が上程され、町長の提案理由の説明のあ
と、重点事項説明が行われ、十三日、十四日には、七人の議員によ
る一般質問が行われました。(二ページ・四ページ掲載)
今回の定例会には、昭和五十七年度の決算をはじめとする議案一
五件が提出され、いずれも賛成多数で可決されました。

第4回定例会の

議決された内容

12月7日~15日

補正予算

保険者とする外国人国籍米
国)を追加するため条例を
一部改正するものです。

一般会計

今回の補正総額は一億二
千八百六十八万八千円の増額補
正と債務負担行為の補正並
びに地方債の補正です。

公共下水道事業

歳入歳出五百三十万円の
減額補正で、南守谷地区稲
子田樋管新設事業の確定に
伴っての減額、面整備工事
の事業計画等を考慮し、工
事費を次年度以降の事業計
画区域の調査設計へ移すこ
と、また、使用料の増収は
小・中学校、高等学校の開
校によるものです。

老人保険

歳入歳出五千二十八万八
千円の増額補正で支払基金
交付金の特例変更申請によ
るもので、増額されたもの
で、歳出は医療費の増によ
るものです。

財産の取得

○北守谷土地画整理事業
地区(北団地)にあった町
道を一担廃止し、新設され
使用収益開始された道路を
町道として新たに認定する
ものです。

町道認定・廃止

工事変更契約

○58国補街改第一一一号工
事において入札差金が生じ
追加工事による変更契約の
増額三千百六十六万七千円と
なったためです。

昭和五十六年十二月計画
決定された取手都市計画公
園(東守谷近隣一公園)
の用地取得で、三年計画で
取得します。本年は五九
九・一一平方メートルです。

各会計決算

- 昭和五十七年度守谷町一
般会計決算
- 昭和五十七年度守谷町公
共下水道事業特別会計決算
- 昭和五十七年度守谷町国
民健康保険特別会計決算
- 昭和五十七年度守谷町老
人保健特別会計決算
- ※関係記事は五ページに掲
載してあります。

条例制定・改正

- 公職選挙法に基づき守谷
町任意の選挙広報を発行す
るための条例制定です。
- 守谷町国民健康保険の被

科学万博を成功させる決議

昭和60年3月筑波研究学園都市で開催されます
「科学万博ーつくば85」は、県民が科学技術に
対する理解を深め、豊かな創造力を養うとともに
来場する人々との交流によって視野の広い人間形
成に役立ち、また、訪れる内外の人々に茨城の姿
を認識してもらいイメージアップを図る絶好の機
会であります。

守谷町でも科学万博に対する理解を深め、科学
万博が成功するよう守谷町議会として、ここに決
議するものであります。

昭和58年12月15日

北相馬郡守谷町議会



町民と共に考える行政

一般質問

7名登壇

12月13・14日

第四回定例会における一般質問は、去る十二月十三日、十四日の二日間に行われ、今回の通告者は、浅野議員、瀬尾議員、倉持(和)議員、松本議員、倉持(洋)議員、中村議員、岡田議員の七名で、工業団地問題、環境問題、財政問題など熱のこもった質問を行いました。

工業団地を早期完成せよ
既成市街地対策をどう考えるか

浅野 進議員

浅野議員 工業団地の促進について次の点で伺いたい。(一)愛宕割の工業専用地区についてはすでに調査費が計上されているにもかかわらず、今年度もまた計上されているが、その理由は何なのか。さらにはその後の経過をお尋ねする。

(二)野木崎地区の工業団地計画については、公団が調査中らしいが町自体も積極的に行うべきだと思うがどうか。

企画財政課長 (一)前回の調査費は、約一五ヘクタールの工業専用地区内の測量で、今回のものは、前回行ななかった以外の地区二八ヘクタールを対象としている。

愛宕割の工業専用地区については、測量などの調査が完了次第整備し、優良企業を誘致したい。

町長 (二)野木崎地区に予定している工業団地について町は全面買収で行ってほしいという考えです。公団でも現在、その手法について調査中らしい。

企画財政課長 指摘の地区については、公団の方で調査中で、農用地が多いため農林調整などが必要であり、関係機関と折衝中とのこと。

駅前再開発

浅野議員 駅前の再開発については、百万円の調査費を持って調査中であるが、その結果はどういうふうになったか。また、守谷も近年西口方面に開発が進み、守谷駅舎も考え直さなければならぬと思う。守谷東



いくつかあるショッピングセンター構想の中の一部

土地区画整理事業との関係も含め、どう考えているか。

都市計画課長 駅前周辺の再開発についての構想図はほぼ完成している。現在、細部については検討中であり、今年度中には数字的なものまで表わしたい。駅前の再開発と守谷東土地区画整理事業については、一体性を考えている。

浅野議員 現在、守谷町ショッピングセンターが北団地内に仮店舗で出店している。公団は五年間大型店を出さないという確約があるのにもかかわらず今回、大型店出店の計画をし、テナントとして町の業者を入れようとしているようだ。守谷町のショッピングにも同等の権利をあたえ営業させていくような行政指導を考えていないか。

産業経済課長 守谷ショッピングセンターが北団地内に仮店舗で出店しているが、根本的な問題として、入居者の利便性が不足している。それらに対応するには先行投資的なものが必要であり

教育長 中学校については生徒の増えるのは、住民の要請もある。五十九年度には建設したい。愛宕中黒内小についても五十九年度には増築したいという考え方で進めています。

浅野議員 今の町営住宅は老朽化しており、下水道を入れた場合には金がかかるというところだが、その後どういう考え方があったか。

町長 町営住宅については一部地権者から土地の返還を要請されている。町でも木造平家建ての町営住宅が点在していることについて一箇所に集めたいという構想を持っている。財源の問題もある。今後検討したい。

町営住宅を永久的な建物に！
県道の整備を早急に行え

瀬尾高四郎議員

瀬尾議員 町長は九月定例会で「町営住宅は今後、中高層の永久的なものを建てたい。」さらに「住宅供給公社の建設する建物を利用したい。」と答弁していたが、現在、散在している町営住宅についてどういうような規模のものを住民に供給するのか。

町長 守谷の町営住宅は木造で老朽化しており、改築の時期にきている。今後建築するとなれば耐火構造でなければならぬ。五十九年度にはどのような方式でというものが良いかというところを調査し、実行に移す段階まで持っていきたい。

瀬尾議員 町内には依然として草茂の地が多く火災などの危険性があるのではないかと。現時点で草刈条列をどのように適用しているか、実施面積などの報告を願いたい。

総務課長 昭和五十八年度の草刈りの対象面積は一三万五千平方メートルで地権者数は六百六十六人です。本年度に実施されました面

工事請負の考え方について
開発と自然保護の関係

倉持和夫議員

倉持議員 去る九月三日、十月三十一日に行われた工事入札についてお尋ねするが、予定価格一千三百五十万円に対し、落札価格九百二十万円、四百三十万円からの差が出ている。あとの工事についても二百四十万円、三百三十万円という差がある。これらを見ると、設計価格が適正に算出されていなかったか。もし正しければ、工事の完全な施工にかかるかどうか。また、これによ



老朽化した町営住宅

向って業者とよく話し合い事故のないようにしてもらいたいと思うがどうか。

総務課長 (一)指摘のあった消防車などについては、昭和四十七、四十八年に配備したもので一、二台あります。五十九年度の予算編成時には検討したい。

浅野議員 (一)現在の消防車(各分団に配備のもの)は十年以上も使用し、老朽化している。また、そこに搭載されている機具も同様である。これを年次計画で新しくする考えはないか。

(二)現在、町内いたる所で工事を行っているが、年末に積約六万五千平方メートルで四十八パーセントの執行率です。未実施の面積が約六万九千平方メートルという状況です。

瀬尾議員 県道藤代・板戸井・岩井線は約六万五千平方メートルで四十八パーセントの執行率です。未実施の面積が約六万九千平方メートルという状況です。

町長 県道は利根川と平行した県南の重要な道路であり、近年交通量が多くなっている。特に取手競輪が開催された時などは、道路として利用され危険性が增大している。町長から都市計画道路の完成により軽視されるような発言もあったが、その後どうなっているか。

所があれば申し出るようにして、係も巡視している。

瀬尾議員 役場や公共施設の資材・器具などについては、責任がないかのように思われがちで維持管理がずさんになりがちであるがどのように対処しているか。

助役 町は公共に供するための資材・機械・器具などについて、維持管理に努めている。今後も十分配慮して行きたい。

瀬尾議員 守谷町も都市化が進み農地が少なくなっている中で、大切な農作物をねらう野犬・野鳥が増えている。それらの駆除についてどう対処しているか。

厚生課長補佐 野犬については、年一回保健所と協力し、毒えさによる毒殺を行っている。

産業経済課長

産業経済課長 鳥獣については例年、ほうれん草・枝豆等の播種期にカラスやウサギ、キジバトによる被害が出ている。町においては猟友会の協力を得て、本年も五月に三日間ほど駆除を実施している。

所があれば申し出るようにして、係も巡視している。

瀬尾議員 役場や公共施設の資材・器具などについては、責任がないかのように思われがちで維持管理がずさんになりがちであるがどのように対処しているか。

助役 町は公共に供するための資材・機械・器具などについて、維持管理に努めている。今後も十分配慮して行きたい。

瀬尾議員 守谷町も都市化が進み農地が少なくなっている中で、大切な農作物をねらう野犬・野鳥が増えている。それらの駆除についてどう対処しているか。

厚生課長補佐 野犬については、年一回保健所と協力し、毒えさによる毒殺を行っている。

産業経済課長 鳥獣については例年、ほうれん草・枝豆等の播種期にカラスやウサギ、キジバトによる被害が出ている。町においては猟友会の協力を得て、本年も五月に三日間ほど駆除を実施している。

倉持和夫議員

倉持議員 去る九月三日、十月三十一日に行われた工事入札についてお尋ねするが、予定価格一千三百五十万円に対し、落札価格九百二十万円、四百三十万円からの差が出ている。あとの工事についても二百四十万円、三百三十万円という差がある。これらを見ると、設計価格が適正に算出されていなかったか。もし正しければ、工事の完全な施工にかかるかどうか。また、これによ

来るものだし、町はいささかも不審を抱いていない。特に一社が低価格で落札したという質問ですが、それは企業努力と思うし、町はそういう姿勢であってほしいと考える。

建設課長 公共事業の設計に對しましては、県の標準単価に基づいて適正に行っています。

倉持和議員 守谷町は南北両団地、みずき野団地などの街づくりが行われ、さらに大新東上裏地区、乙子地区が開発されようとしている。開発をすることは、やむを得ないことですが、そのために自然環境を破壊していることは事実である。自然を失うことは非常にさ

下水道の諸問題の早期解消を 義務教育と非行問題について

松本明子議員

松本議員 現在、守谷町の農業は開発などにより農地が少なくなり、就業人口も減りつつある。さらに減反政策により農家の家計を圧迫している。こういう状況の中で水田利用再編第三次対策が進められようとしているが、これらの特徴はどんなことか。

産業経済課長 第三次対策については昭和五十九年度から三箇年行われるものですが、今のところ指示などは来ていない。特徴として考えられることは、奨励金が減額されるであろうという点と、多用途米という方向が打ち出される。また管理休耕の条件がきびしくなるといことが考えられます。

松本議員 農地をつぶす方向で計画されている工業団地の開発基本構想によると七三ヘクタールの面積で、

びしいことであり、町長はこの守谷の自然ということについて、どういう考えを持っているか。

町長 ご承知のように町は開発が進められ、まだ完全に終了していないにもかかわらず、開発の計画が出て来ているという点も悪循環が起っており、自然が徐々に失われつつある。自然も有効であれば良いが、それがまた公害となって表わされて来るような状態も考えなければならぬ。ある程度の開発を考え、さらに、二度と戻すことの出来ない自然を保護するということについても慎重に考えて行かなければならないと思う。

松本議員 環境問題について、次の点を伺いたい。
①下水道施設未整備地区(調整区域)の家庭排水をくみ取り、浄化センターに搬入出来ないか。
②最近、ゴミ焼却場においてダイオキシンという毒性の強い物質が問題になってい

町長 ①守谷町の下水道は原則として市街化区域を対象にして事業を行っている。調整区域の排水処理は町でも苦慮しており、指摘の方法も検討してみたいとは

厚生課長補佐 ②厚生省でもどういふものから発生するか専門家を発足させて調査中。当町も国の対応策が出来次第、広域等と協議して行きたい。

下水道問題



側溝の早期整備が待たれる原地内

松本議員 下水道問題について伺います。

①下水道工事で町道から私道を経て家庭に引き込む場合、私道分も個人負担となるらしいが、道路という性格を考え、町費負担とならないか。

下水道所長 町内下水道について、町で規定が定めてあり、公共マスまでの扱い方は町道に準じています。

②守谷の下水道料金は一立方メートル当り百三十四円で取手・牛久とくらべて二倍以上の料金となっているがその根拠をお尋ねする。

下水道所長 料金の基礎となるのは、下水道工事費が主なもの、昭和五十六年当時原価計算をした場合百五十七円となり、審議会などを経て現在の価格になったわけだ。

③現在、下水道事業へ一般会計から一億余円繰入れてはいるが、妥当な額といえるか。

下水道所長 下水道事務所としては、予算編成の時点で折衝し、現在の額になっている。しかし、現状では増額を要請したい。

教育問題

松本議員 教育問題で尋ねます。

①義務教育費の父母負担が増え家計を圧迫している。義務教育の授業料について憲法で無償とするところがあるが、どの範囲をさすのか。

②文部省では、校内暴力などの問題を起した公立小中学校の児童生徒に対する出席停止の権限を教育委員会から校長に委任できるとい

う見解を出したが町の方角はどうか。

松本議員 ①教育基本法に義務教育の授業料は徴収しない



道路占有料を取っているようだが、守谷の場合はどうなっているか。

建設課長 道路占有料は法律で、条例化すれば取ることが出来るが、その場合、工事等で移動する時など逆に移設料が取られる。守谷の場合工事が必要に多いため移設料の方が多くなってしまうのではないかと、今後良く検討したい。

松本議員 原地内の町道及び側溝については、地区の方々と話し合いが進められていくようだが、全員の承諾が得られないため町道として告示されていない。承諾を得た所から工事をする

建設課長 所有者二三名のうち登記済が二〇七件で残り二六件については、相統や事務的なものが残っている。道路整備については年次計画で行う予定で、路線決定については、地区の方々と話し合い決定したい。

松本議員 新大根有料道路は大雨などによる通行止がしばしば起っている。通行量の多いこの道路をもっと完全なものにするよう要請してもらいたい。

町長 指摘の道路は住民の方々から早期開通を希望された。今後、完全な橋にするよう県の道路公社に働きかけて行きたい。

松本議員 上水道について町長は公団に対して、計画人口に達しない差額について折衝するということだが六月以降どうなっているか。

町長 公団から当初予算を編む上に国費導入となる為町の事業については、窓口を一括して折衝してほしいとの要望があり、内部検討し、その資料を作成し、公団と話し合いを持つつもりです。

道路問題

五反田樋管地先の排水路整備 第二常磐線の守谷誘致促進を

倉持 洋議員

倉持洋議員 五反田樋管地先水路について伺いたい。
①台川端下に位置する大野川への落し口は、細いヒューム管になっているため、排水の能力が悪く、大雨の時など支障をきたしている。改善方を要望してあるが、その後どうなっているか。

②五反田樋管から大野川へ直結する排水路を新設する件について現在、測量調査の段階だということだが、その後の経過を伺いたい。

建設課長 ①ヒューム管の件については、建設省に話をしている。大柏出張所長の話しによれば予算関係もある。稲子田樋管工事と合せて改修するという

②については大野川へ直結してもらいたいという要望があり、土地改良区の理事長とも話し合い建設省へ申し入れをしている。建設省でも町に對し、地権者に協力方を要請してもらいたいということ、見通しが

町長 指摘の排水路は住民の方々から早期開通を希望された。今後、完全な橋にするよう県の道路公社に働きかけて行きたい。

松本議員 上水道について町長は公団に対して、計画人口に達しない差額について折衝するということだが六月以降どうなっているか。

町長 公団から当初予算を編む上に国費導入となる為町の事業については、窓口を一括して折衝してほしいとの要望があり、内部検討し、その資料を作成し、公団と話し合いを持つつもりです。

行政改革

倉持洋議員 現在、国・県を問わず行われようとしている行政改革は、守谷町にも影響が及び、自治体自ら国に合せ行政の見直しをしなければならぬ時期に来ている。このような時期に町行政機構のうえから新しい行政需要に

町長 行政改革は、守谷町にも影響が及び、自治体自ら国に合せ行政の見直しをしなければならぬ時期に来ている。このような時期に町行政機構のうえから新しい行政需要に

町長 行政改革は、守谷町にも影響が及び、自治体自ら国に合せ行政の見直しをしなければならぬ時期に来ている。このような時期に町行政機構のうえから新しい行政需要に



朝夕は混雑が激しい常磐線(取手駅)

えた場合、第二常磐線は必要であると思う。茨城県においては代議士の方々が促進協議会を持って検討しており、県会においても同様

南・北団地の町づくりの主体性について 教育問題について

中村 力議員

中村議員 去る九月定例会に守谷町議会は行政改革的な認識から議員定数を二名削減した。今日の政治的課題は、行政改革であり、財政再建だというような認識を尊重するならば、当町議会の果した定数減は大きく住民の声に答えるものだと思ふがどう考えるか。

町長 議員定数の二名削減については、町民の望むところであり、時代に合った措置であると思う。行政改革の第一歩として行ったという事は、町民の方も評価していると思うし、私達執行機関としても適切な措置をしたということで、深く敬意を表するものです。

団地づくり

中村議員 団地づくりについて、教育施設や上・下水道などの公共事業の投資を想定すると、将来この負担

えて行かなければならない。先般も県の住宅公社に土地を有効に利用してもらいたいということを申し入れてある。

非行問題

中村議員 教育問題については世間話として色々のことを聞かされるが、その実情はわからない。今日のような社会情勢、それから今の子供が昔のままだという認識では済まされないものがある。私はある程度校内における実態というものをPTAや学校だけでなく議会の担当委員会などに卒直に現状を報告し、解決のため努力すべきと思う。

教育長 指摘のあった件は、愛宕中のことと思いますが九月ごろから一部の生徒により、いわゆる校内暴力というものが表面化して参りました。この問題については、PTAの方々に実態をお知らせし、協力を求め、議会については、教育厚生

人勤の早期実施をせよ！ 町有財産の管理は万全か

岡田光雄議員

岡田議員 政府国会では国家公務員の給与改定について、人事院勧告六・四七パーセントを大きく下回る二・〇三パーセントで決定した。町長は守谷の職員の給与についても国並みには実施したいと言っているが、どう考えているか。また実施するとするならば、当初予算に計上してある一パーセント分を概算払いとして年内に支給する考えはないか。

町長 人事院勧告については最大限に尊重したいと思つては、国・県に準じて行う

ことを担当課長としてどう思ふか。また、その大会において二八三の方が表彰を受けているにもかかわらず、当町に該当者がいなかった。どのような人が対象になり表彰されるのか。

住民課長 社会福祉協議会の県の大会のことについては、住民課を経由せず直接社会福祉協議会の事務局の方に行ってしまったため、横の連絡が取れませんでした。例年役場の公用車で出席していましたが申しわけなく思っています。また、表彰については年限があり民生委員を十年以上やっていた方が対象になり、守谷はすでに表彰を受けてしまったので該当者はなかったものと思います。

岡田議員 障害者に関する問題で、生活環境の改善という点について、幸い役場の入り口はスロープ、手すりも設置してもらったが中央公民館のホールや学校、準公共施設と言われる銀行などにも同じような施設を設置してもらいたいと思う。

町長 身障者に対する施設は、公共施設はもちろんだが、公共的な所にも設置するよう町からも要請したい。岡田議員 一般会計の収支問題ですが、収入役は現在一百六億五千万円の公債があるという説明をしていたが、その償還を財政課長としてどのように考えているか。

企画財政課長 北団地だけを考えると昭和六十二年ごろ起債のピークに達する。一般会計を考えると起債のピーク時は昭和七十七年ごろになると考えています。

財産管理

岡田議員 町有財産の管理



町有地が一部未解決のまま(前川製作所)

について次の点で伺いたい。④前川製作所内に守谷町名義の町道が残っていることは前回指摘した。前川製作所の現在の総面積を調べたところ、企画財政課で二二万五千平方メートル、税務課の課税面積は一七万六六三九平方メートルとなっており、約四万八四三三平方メートルの差がある。これはどちらが正しいのか。

町長は、この町有地について、内部でよく話し合いをし調整をして、妥当な線をつくり誠意のある話し合いで解決したいと言っているが、内部調整などその後どうなっているか。

企画財政課長 ④企・財課でつかんでいる数字については、各企業から申告を取った時の数字で、税務課と四万八四三三平方メートルの差については、台帳面積であることと町有地を差引いた面積に課税していること、さらに、企業から出た数字であるので、公の数字ではないという点です。

町長 ⑤前回の議会では町有地の管理について質問があり、まず、建設課の方で事務的に前川製作所と接触している。その後、町へ来てもらい問題解決の提起をした。そこで町有地の面積町

では一万二千平方メートル企業では七百坪と言っている。について意見がくいちがったため、再度良く調査して話し合うことになった。

財政問題

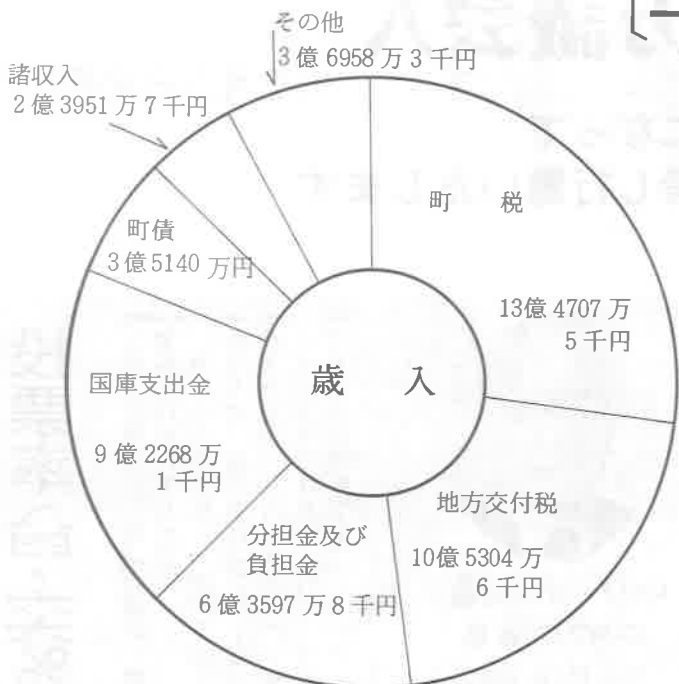
岡田議員 昭和五十八年度の当初予算は約五十億円で、五十七年度より八パーセント増になっている。こういうことを考えると五十九年度は一〇パーセントぐらいの伸びがあるのではないかと。予算の中でも重点的作業の考え方についてどう思っているか。

町長 五十九年度の予算については、税収、交付税とも減額されるのが想定され、一〇パーセント増で予算を組むのは危険すぎる。先般も国から予算の過大見積りはさけるようにという通達が出てきている。そういう中で、どうしてもやらなければならない事業、仕事から案分して行くという考えで進めています。

岡田議員 歳入歳出について次の点を伺いたい。⑥歳入 ⑦ゴミ処理、あるいは、し尿処理についての受益者に対する負担の考え方。⑧課税客体をどのように把握

握し、欠損不能額の解消や超過負担軽減についてはどう考えるか。⑨よりよい住民サービスをするための機構改正、適正人員の配転、あるいは、民間委託についての考え方。町長 ④受益者負担の問題の考え方として、受益者は自分の負担をしていただく時代にあるということを念頭に置いてもらいたい。⑤課税客体、対象とするものを正確に把握し、課税することに努力したい。超過負担については、地方自治体が以前から国に對し要請している問題です。⑥事務改善、人員の配置については、常に斬新的な考えで行きたい。委託業務については、経費が削減出来る、住民サービスの低下が起らないものについては検討して行きたい。⑦歳出 岡田議員 ⑧総合体育館の建設の考え方と建設時期についてはいつごろを考えているか。また、町営住宅の公共下水道設置についてはどう考えているか。⑨教育長は北守谷地区に中学校を建設しなければならぬと答弁しているが、これらの用地、建設についてどう考えているか。町長 ④五十九年度予算の歳出についての質問ですが、すべて大切な事業であり、金のかかるものです。とにかく、予算編成時に優先事業を検討し、予算化したい。教育長 ⑤予算付については財政と協議していかないで、はっきりしたことは言えない。国の補助等もあるのだけれども、用地については、北団地に二箇所確保されている。いずれにしても公団の立替え施行になると思われ

〔一般会計の内訳〕



昭和57年度各会計決算一覧表

会 計 別 比 較	一般会計	下水道事業 特別会計	国民健康保険 特別会計	老人保健 特別会計	合 計
歳入決算額	49億 1928万 726 円	17億 9690万 7018 円	6 億 3640万 5485 円	2206 万 9000 円	73億 7466万 22 29 円
伸 び 率 (%)	8.7 1	△ 4 9.2 1	9.5 1		△ 1 4.6 8
歳出決算額	47億 4609万 4800 円	17億 7757万 8529 円	5 億 3157万 9725 円	1943万 7488 円	70億 7469万 54 2 円
伸 び 率 (%)	7.5. 4	△ 4 9.0 8	1 0.7 9		△ 1 5.6 1
差 額	1 億 7318万 5926 円	1932万 8489 円	1 億 482 万 5760 円	263 万 1512 円	2 億 9997万 16 87 円

効率的な財政運営をめぐって
五十七年度決算を認定する

昭和五十七年度の各会計決算が認定されました。決算総額は約七十三億七千万円で、各会計の決算額などは別表のとおりです。

決算の審議は、町の仕事計画（予算）どおり適切に行われたかをチェックするとともに、今後の町の進め方を考えていくという大切な役割をもって、今回の決算特別委員会を持たない守谷町議会では、四つの委員会に各部門別に付託しました。

委員会では、各委員が町執行者に対し、いろいろな角度から具体的な質疑を行い、慎重な審議を経て本会議に報告され、賛成多数で可決承認されました。

議会を住民の
みえるところへ

東洋大学教授 坂田期雄

地方議会人より(その2)

議会広報はそこに至る審議の過程で論議された事項に重点がおかれた広報になる。もちろん、そこにのせるのは特定の狭い地域のドグ板的な発言は省略し、まち全体についての政策議論を中心にすべきであろう。

議員個人も議会報告を——

——足で歩いた情報を——

また、これとともに議員個人個人も、議会報告等の形でそれぞれの地区の住民に議会活動の状況を知らせる努力が必要であろう。あるまじき議員は、自分のもたらした歳費をほとんど使って年五回、議会報告を二千部印刷し、それを自分の後援者を通じて配布している。さらにそれと並行して議会報告会を持ち、その時間のうちの半分は議員の方からの報告、あと半分は時間は住民からの声、提案を聞くこととしている。最近の

「住民の議会離れ」というのは選挙が終ると、議員の方からむしろ住民離れし、足で歩いた情報を持たないといわれるが、議員一人一人がこのような努力をもつとする必要がある。

事前の了解、根回しをやる

——住民の前で討論を——

第三は、このような「住民に知らせる」努力とともに、議会の審議内容も改革して行く必要がある。とくに本会議は、現在、どこの議会もほとんどテーマ論中心の演説で、ホネネの部分は別の場で話し合われていることが多い。とくに全員協議会など持たれているところでは、そこではほとんど全部の質問、発言は出てしまい、肝心の本会議は、全くの儀式、セレモニーになってしまっているところが多い。

(次号につづく)

みなさんから出された
請願・陳情

◆たばこ・塩専売制度ならびに公社制度の存続に関する陳情書(守谷町、柿沼武男・村山寛三郎) たばこ塩専売制度ならびに公社制度を存続するよう政府関係機関に意見書を提出してもらいたい。(継続審査)

◆町有地払い下げに関する陳情書(守谷町商工会長、大久保信市、守谷町ショッピングセンター協同組合長理事・中村林) 守谷ショッピングセンターの売店などについては消費者の要望などにより準備を進めて来たが、町有地払い下げ問題が解決

していないため進展しない。早急に払い下げ方を要望する。(前回提出済のため、確認)

◆守谷東土地地区画整理組合設立準備資金に関する陳情書(守谷東土地地区画整理組合設立準備委員長・石塚旭ほか二五名) 守谷東土地地区画整理事業が町民の発意に基づく事業であり、かつ既存市街地の発展に欠すことのない公共事業であることを考慮し、設立準備資金として一千万円の援助を願いたい。(継続審査)

○町議会への意見や要望などがあついたら町議会議務局(8)一四四一 内線56番までお寄せ下さい。

編集後記

新時代に対応する地方議会人

(2月5日投票)

守谷町議会議員
一般選挙 特集

常に全住民の身になって
思考し行動いたします



大久保隆司(54歳)
守谷463番地
無現864.190票



松本明子(43歳)
守谷3254番地の4
共産現950票



松丸照雄(56歳)
野木崎1221番地
無現951票



中村 力(58歳)
守谷2270番地
無現1118.739票

投票率四・六％
去る二月五日、町議会議員一般選挙が行われました。当日の有権者数は一万四千四百五十八人で、投票率は、男八二・七六パーセント、女八六・五四パーセント、全体では八四・六六パーセントという結果です。



15カ所の投票所から集められた投票用紙をいっせいにあけ開票開始



豊島 清(55歳)
大柏598番地の1
無現647票



会田真一(33歳)
高野1293番地
無現798票



西巻健治(42歳)
鈴塚356番地の42
公明新826票



倉持 洋(51歳)
高野1665番地
無現457.605票



大久保 通(66歳)
板戸井1670番地
無現468.260票



浅野 進(53歳)
守谷389番地の3
無現564票



寺田 達(54歳)
守谷2545番地
無新565.548票



飯塚 操(54歳)
立沢311番地
無現647票



皆川鉄男(54歳)
乙子190番地
無現417票



倉持和夫(61歳)
守谷2259番地
無現420.394票



相良泰助(63歳)
守谷3313番地
無現435票



開票結果を心配そうに見守る関係者



岡田光雄(59歳)
守谷150番地の2
無現261票



塚原栄一(60歳)
守谷2244番地の3
無現350票



柳生 力(45歳)
大柏818番地の2
無現394.260票



大塚由男(59歳)
大木2280番地
無現398票



須賀吉則(54歳)
大木670番地
無現401票